

第37期 年次報告書

2012.7.1 →→→ 2013.6.30



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。当社の第37期年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

！売上高、営業・経常・当期純利益ともに過去最高を更新

2013年6月期の連結業績につきましては、売上高は医療償還価格の下落、産業機器分野の減少などの影響はあるものの、自社ブランド製品の末端需要が全地域において大変堅調であることや、主力製品PTCAガイドワイヤーの国内直接販売化に伴う収益改善、タイ洪水影響からの復旧に伴う取引平常化などにより、前年同期比34.5%増の19,968百万円となりました。

営業利益は、営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な売上高に比例し、同113.5%増の4,351百万円となりました。

経常利益は、足元の円安傾向に伴う為替差益の増加により、同148.6%増の4,802百万円となりました。

また、当期純利益は、同210.4%増の3,004百万円となり、売上高、利益ともに過去最高を更新しました。



代表取締役社長

厩田昌彦

！売上高、利益ともに来期はさらに拡大する見込み

2014年6月期の連結業績予想につきましては、メディカル事業では、循環器系領域の主力製品であるPTCAガイドワイヤーが、日本、欧州・中近東、中国を含むアジアにおいて引き続き市場シェアが拡大するほか、PTCAバルーンカテーテルなどの新製品の市場投入、腹部・脳血管系領域製品の直接販売切替に伴う収益改善などにより、医療償還価格の下落による減収の影響を抑え、売上高は大幅に増加する見込みです。

日本市場では、当社の「ASAHIブランド」製品の国内販売は従来、大手販売代理店を通じて行われてきましたが、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーにつきましては2012年1月より、腹部・脳血管系領域の製品につきましては2013年7月より、当社グループの連結子会社・

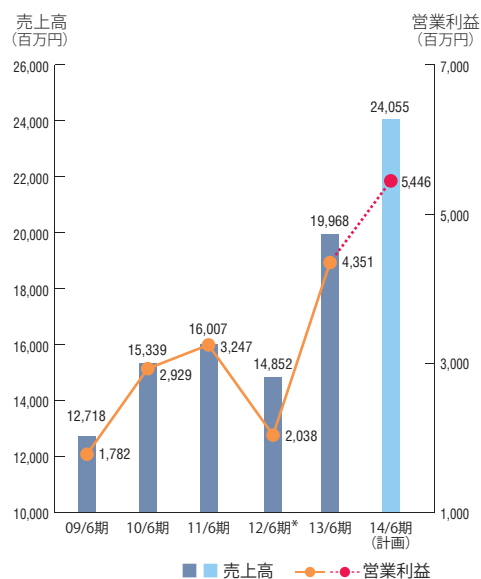
株主の皆様へ

朝日インテックJセールス株式会社が、病院などに対して直接販売する体制に変更したことなどにより、収益は拡大する見込みです。

海外市場では、PTCAガイドワイヤーが2011年7月より代理店切替を行った欧州や、販売子会社を通じて販促活動をさらに充実させる中国などにおいて引き続き市場シェアが拡大することや、2013年1月より米国・欧州にて、脳血管系製品の販売を開始したことにより売上が伸張すること、さらには中国にて腹部血管系製品が拡大予定であることなどから、売上高は増加する見込みです。

デバイス事業では、医療機器分野の部材製品は、特に海外を中心とした展開を強化することにより、産業機器分野の部材製品は新製品の市場投入による顧客の開拓などにより、ともに売上高は増加する見込みです。

以上のことから、2014年6月期の連結業績につきましては、売上高は前年同期比20.5%増の24,055百万円、営業利益は同25.2%増の5,446百万円と、増収増益を見込んでおります*1。



*タイ洪水の影響を受け、主力のタイ工場が一時的に稼働を停止したため、減収減益となっております。

第2の主力製品確立に向けたカテーテル分野への新製品投入

当社は研究開発型企業として競争力の高い製品群を投入しておりますが、今後は当社グループが有する高度な「ステンレス加工技術」と「樹脂加工技術」を融合することにより、PTCA/バルーンカテーテルやPTCAガイディングカテーテルといった製品群を育成してまいります。

2013年2月より販売開始したPTCA/バルーンカテーテル「Kamui」*2や、2013年5月より販売開始したPTCAガイディングカテーテル「ASAHI Hyperion」*2などの循環器系領域の周辺製品群や、末梢・腹部・脳血管系領域の新製品を積極的に市場投入することにより、PTCAガイドワイヤーに次ぐ第2の主力製品の確立を目指すとともに、カテーテル分野に新製品を投入することで、収益の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、従来にも増してご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2013年9月

*1 当社はトヨフレックス株式会社の全株式につきまして、当初の計画通り2013年9月末日までには全株式を取得する予定ですが、現時点では株式取得前のため、同子会社化に伴う損益につきましては業績見直しには含めておりません。

*2 「Kamui」および「ASAHI Hyperion」の概要については「技術・製品紹介」をご参照ください。



中期経営計画「Next Stage 2016」の進捗について

当社グループは、2012年6月期から2016年6月期までの5年間における中期経営計画「Next Stage 2016」を2011年5月に発表しました。この中期経営計画では、「低侵襲治療*製品を機軸とし、開発から製造・販売までトータルサポートできるグローバル医療機器企業へ」をテーマとして掲げ、2016年6月期に連結売上高300億円を達成することを目指しており、2013年6月期において、計画通り順調に推移しております。

今後も、中期経営計画に基づく成長戦略を強固に進め、継続的に安定した成長と高収益体質を確立・維持していくことで企業価値を高め、高収益企業として成長し続けたいと考えております。

グローバル規模での収益基盤の強化

「Next Stage 2016」の重点施策の一つである「グローバル規模での収益基盤の強化」の具体的施策として、さらなるマーケティング活動の強化を図るために、当社の中国販売子会社である朝日英達科貿(北京)有限公司が、2013年7月より上海に事務所を開設しました。マーケティング活動や販売促進活動をさらに強化し、現地代理店に密着したバックアップ体制を敷くことにより、成長著しい中国においてさらなる市場シェアの拡大を目指してまいります。また、今後の医療機器分野の中近東地域およびアジア地域における販売強化を目的として、2013年7月に中東支店を開設しており、また2013年中にインド支店を開設する予定です。グローバル市場の中でも、特にこれらの地域は成長が著しく、今後もさらに大きな発展が見込まれることから、今回の両拠点での支店開設を決定しております。



中東支店(2013年7月開設)
アラブ首長国連邦 ドバイ



インド支店(2013年中に開設予定)
インド グルガオン(ニューデリー近郊)



上海事務所(2013年7月開設)
中国 上海



*低侵襲治療／患者様の精神的・身体的ダメージを最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすることなく、太腿や手首から血管を通じて行う、傷口や痛みが少ない治療のことです。

当社の事業や成長戦略がよくわかる スペシャルコンテンツをウェブにて公開!

当社ウェブサイト(IR情報ページ)にて、スペシャルコンテンツ「朝日インテックとは?」を公開しました。

当社の事業内容や製品、成長戦略についてストーリー仕立てで解説する内容となっており、医療に関する難解な専門用語や、中期経営計画「Next Stage 2016」の4つの重点施策についてもわかりやすく説明しています。ステークホルダーの皆様当社をより深く理解していただけるよう、新設したものです。

当社IR情報ページからアクセスできる「朝日インテックとは?」を、是非ともご覧ください。



当社の事業をストーリー仕立てに わかりやすいキーワード解説も併設

「朝日インテックとは?」をご覧になるには

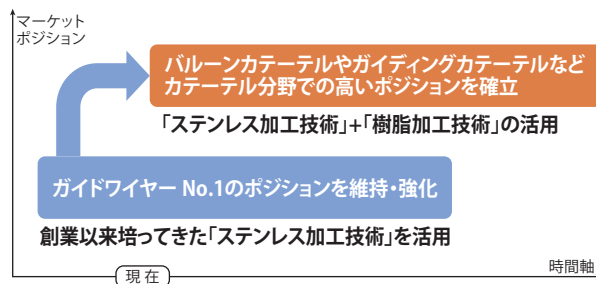
朝日インテック IR で検索

<http://asahi.irbridge.com/>

技術・製品紹介

当社では、主力製品PTCAガイドワイヤー*1に次ぐ第2の主力製品として、当社グループが創業以来培ってきた「ステンレス加工技術」と「樹脂加工技術」を活用したPTCAバルーンカテーテル*2やPTCAガイディングカテーテル*3などの、循環器系領域におけるカテーテル分野の製品群を強化・拡大し、高いポジションを確立してまいります。

今号では、2013年2月より販売を開始したPTCAバルーンカテーテル「Kamui」、2013年5月より販売を開始したPTCAガイディングカテーテル「ASAHI Hyperion」をご紹介します。

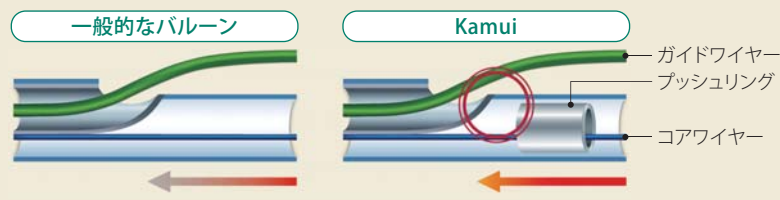


▶PTCAバルーンカテーテル「Kamui」

当社独自の「ステンレス加工技術」と「樹脂加工技術」の融合により、バルーン、シャフトなどを超薄型にすることで、高い通過性能を実現し、スピーディな手技を成功に導くことが可能なPTCAバルーンカテーテルです。

「Kamui」の主な特長

- ① バルーンが超薄型かつ高い柔軟性により、病変通過時の抵抗を低減
- ② 高い滑り性能により、固い石灰化病変においても、高い通過性能を実現
- ③ 当社独自のプッシュリング機構により、手元の力を効率よく先端に伝えることが可能



▶PTCAガイディングカテーテル「ASAHI Hyperion」

当社独自の「ステンレス加工技術」と「樹脂加工技術」の融合により、高いバックアップサポート力と操作性、安全性を兼ね備えたPTCAガイディングカテーテルです。

「ASAHI Hyperion」の主な特長

- ① 高いバックアップサポート力で安定した手技を実現
〈バックアップサポート力の重要性〉



デバイスの挿入時に抵抗があるとガイディングカテーテルが外れてしまい、デバイスに力が伝わらずデバイスの通過性能が発揮できない

デバイス挿入時でもガイディングカテーテルが安定することで、デバイスに力が伝わり通過性能が発揮できる

- ② 手元は高い剛性を有す一方で、先端に向けて徐々に柔軟になるため高い操作性を実現
- ③ 柔軟で見やすい安全な先端チップで高い通過性能に寄与



*1 PTCAガイドワイヤー／詰まったり狭くなった血管を通過し、カテーテル治療に使用するPTCAバルーンカテーテルやステントなどのさまざまな医療機器を病変部まで運ぶために不可欠な製品です。

*2 PTCAバルーンカテーテル／詰まったり狭くなった血管を押し広げるためのカテーテル。PTCAガイドワイヤーに沿って挿入され、先端についた直径1～5mm程度のバルーンを膨らませることによって内側から血管を拡げる機能があります。

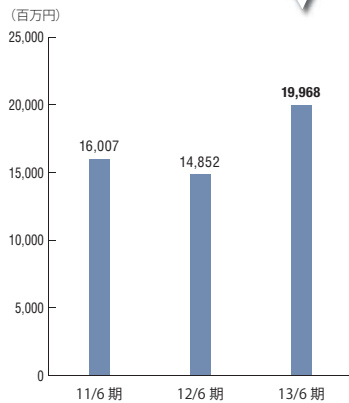
*3 PTCAガイディングカテーテル／穿刺部から冠動脈の入口にかけて留置される中空のチューブのことで、PTCAガイドワイヤーやPTCAバルーンカテーテルなどのさまざまな医療機器を冠動脈の入口まで安全に運ぶ役割を果たします。

連結財務データ

売上高

売上高 前年同期比**34.5%増**

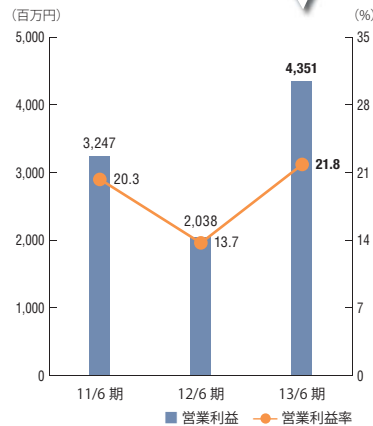
自社ブランド製品の末端需要の堅調や、主力製品PTCAガイドワイヤーの国内直接販売化に伴う収益改善、タイ洪水影響からの復旧に伴う取引平常化などにより、増加しました。



営業利益／営業利益率

営業利益 同**113.5%増**

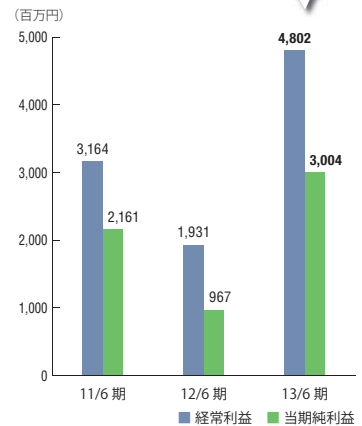
営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高に比例し大幅に増加しました。



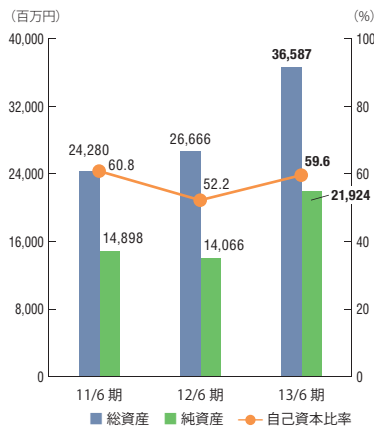
経常利益／当期純利益

経常利益 同**148.6%増** 当期純利益 同**210.4%増**

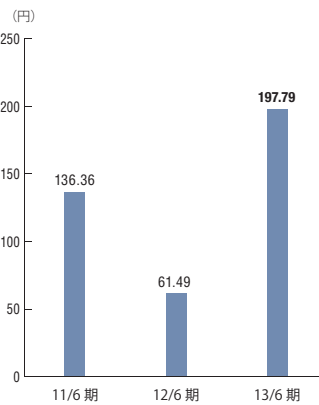
営業利益の増加に加え、足元の円安傾向に伴う為替差益の増加により、経常利益、当期純利益は大幅に増加しました。



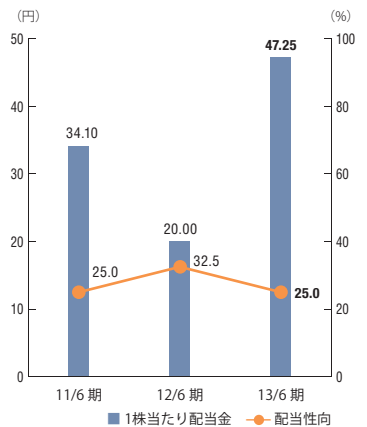
総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり当期純利益

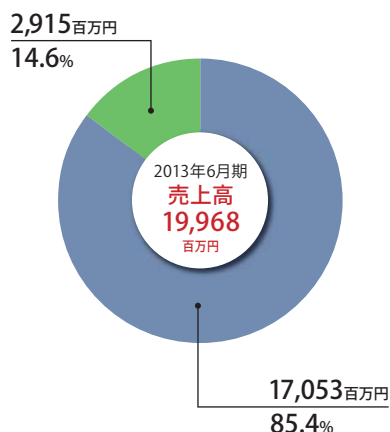


1株当たり配当金／配当性向



セグメント別売上高

▶%は売上高構成比



●医療事業

国内市場では、主力製品PTCAガイドワイヤーの直接販売化に伴う収益改善や、末梢血管用ガイドワイヤーの拡大、脳血管用カテーテル分野への進出開始などにより、売上高は大きく増加しました。PTCAガイドワイヤーの直接販売切替後の末端市場でも、販売は好調であり、販売本数は増加傾向が続いております。

海外市場では、全市場が好調に推移したことや、米国・欧州通貨高の影響が後押しとなり、売上高は大きく増加しました。欧州・中近東市場におけるPTCAガイドワイヤーの継続的な拡大や、米国市場におけるPTCAガイドワイヤーのタイ洪水影響からの復旧に伴う取引平常化および貫通カテーテル「ASAHI Corsair」の販売好調、中国市場における洪水影響に伴う減産の挽回による増加および現地駐在の子会社化による営業体制の強化などにより、売上高は高い伸び率を示しました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比40.5%増の17,053百万円となりました。

●デバイス事業

医療部材は、特に海外市場で耳鼻咽喉科治療用製品や、循環器検査用機器に使用される医療部材が増加したことや米国通貨高に伴い、売上高は増加しました。

産業部材は、国内のレジャー市場への部材供給などが増加したものの、タイ洪水の余波を受けて国内の自動車市場や家電市場への部材供給や、海外のOA機器市場の取引が減少するなどし、売上高は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比7.3%増の2,915百万円となりました。

会社概要 (2013年6月30日現在)

商号	朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)
設立	1976(昭和51)年7月8日
資本金	42億1,454万円
従業員数	連結 3,127名/単体 393名
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部) 名古屋証券取引所(市場第二部)
主な事業内容	①循環器系疾患の治療および診断分野においての 低侵襲治療製品(治療用カテーテルシステム、 検査用カテーテルシステム)の開発・製造・販売 ②消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野 における低侵襲治療製品および医療部材の開発・ 製造・販売およびOEM供給 ③産業機器用極細ステンレスワイヤーロープの開発・ 製造・販売

役員 (2013年6月30日現在)

代表取締役会長	宮田 尚彦
代表取締役社長	宮田 昌彦
専務取締役	竹内 謙式
常務取締役	福井 芳彦
常務取締役	宮田 憲次
取締役	湯川 一平
取締役	加藤 忠和
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	大林 敏治

(注) 監査役佐藤昌巳、大林敏治は、社外監査役であります。

事業所 (2013年6月30日現在)

国内事業所

営業拠点	東京	東京都新宿区
	名古屋	愛知県瀬戸市
	大阪	大阪府和泉市
メディカル事業	瀬戸工場	愛知県瀬戸市
大阪R&Dセンター		大阪府和泉市

海外事業所

香港支店	中国 香港
EU支店	オランダ アムステルダム
シンガポール支店	シンガポール ビジヤン地区
北京駐在所	中国 北京市

子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	タイ パトゥムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.	アメリカ合衆国 カリフォルニア州
朝日英達科貿(北京)有限公司	中国 北京市
フィルメック株式会社	愛知県名古屋市
朝日インテックJセールス株式会社	東京都新宿区
朝日インテックジーマ株式会社	静岡県袋井市

『復興特別所得税』に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、以下のとおり追加課税されることになりましたので、ご案内いたします。

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることとなります。

平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収率は以下のとおりとなります。

	平成24年12月31日まで	平成25年1月1日から平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税	7%	7%	15%*	15%
復興特別所得税	-	0.147%	0.315%	-
住民税	3%	3%	5%*	5%
合計	10%	10.147%	20.315%	20%

*証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は、住民税が徴収されません。
○本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合がございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。
○本ご案内は平成24年12月時点の情報をもとに作成しております。

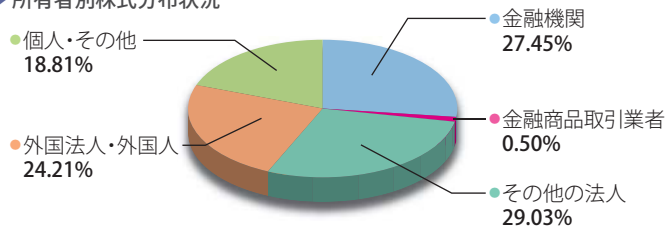
株式情報 (2013年6月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,895,000株(自己株式304株を含む)
株主数	3,961名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アイシーエスピー(有)	1,500,000	9.43
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,272,100	8.00
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	822,100	5.17
MMK(株)	773,000	4.86
(株)ハイレックスコーポレーション	600,000	3.77
ノーザントラストカンパニー		
エイブイエフシーノーザントラスト	490,590	3.08
ガンジー アイリッシュ クライアーツ		
JFK(株)	449,000	2.82
宮田昌彦	440,800	2.77
宮田憲次	428,800	2.69
(株)ホギメディカル	425,800	2.67

(注) 持株比率は自己株式(304株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ http://www.asahi-intecc.co.jp/ に掲載します。 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。